

さやまの伝本

中の道の話

市内を流れる人間川の両岸には、大小たくさん坂道があります。

その中には、「へい坂」「石無坂」などと呼ばれるめずらしい名前の坂道が多く、その内の一つを紹介しましょう。

市役所の前を通り過ぎ、国道16号線に通じる道は現在、道幅も広く舗装され、ゆったりとした

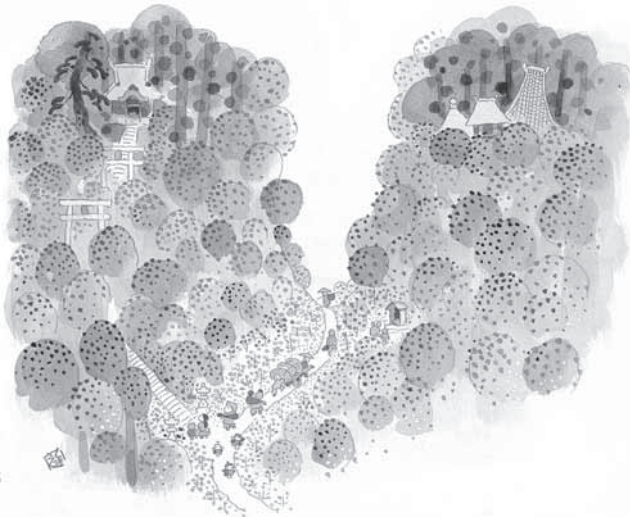
道路になつていきますが、その昔は荷馬車がやっと通れるほどの細い切り通しの道で、八幡神社と慈眼寺との中ほどにある坂道ということから、「中の道」と呼ばれていました。



山を切り開いたような暗く細いこの道は、夜、灯りを持たずに通ると、大人でも恐ろしく、鎌でスパツと裂かれるように皮膚を切る「かまいたち」や、小豆をとぐ音をさせ人を驚かす「小豆婆」が出没したといわれる、それは寂しい道でした。

また、この道は人間川地区の子ノ神社前の道「ころー坂」と呼ばれる旧鎌倉街道につながっています。

「ころー坂」にも、「中の道」と同様、妖怪伝説があり、この坂では「かまいたち」にやられるため、転んではいけないとの言い伝えがあります。



市民の作品展

俳句

狭山市俳句連盟の選による水富地区の作品を掲載します。

- 手のひらに余る一房ぶどう狩り 山崎 立子
- 花木槿ひと日限りの夢開く 清水 正子
- 秋風や鍵別々に持つて出る 久保田和子
- 青銅の大反り屋根やうろこ雲 小山 太市
- 新涼やポテトフライを注文す 橋本 莊一
- 口笛が近づいて来る星月夜 田村ひろし
- 窸出しの火のあかあかと法師蟬 星野 陽子
- コーヒーを少し濃くする秋の風 綿貫 三郎

編集後記



市内には、各地区に伝わる数多くの伝統芸能があります。その内の一つ、「笹井豊年足踊り」

の始まりは平安時代までさかのぼるといわれ、現在まで長く地域に根づき引き継がれてきています。また、奥富地区で昭和63年から始まったかかし祭では、地域の皆さんが力を合わせてかかしを作り、祭りを盛り上げています。それぞれその歴史は異なりますが、どちらにも、祭りに関わる皆さんの地域を愛する心や伝統芸能を大切に思う気持ちから成り立っていることを強く感じた貴重な取材となりました。

分かるかな？

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょうか？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。なお、答えと一緒に広報さやまを見て感じたことなど、ご意見もお待ちしています。締切り11月28日10月号の答え



5ページ・市長の主な動き「都市対抗野球・黄獅子旗」の写真でした。

👁️で見る「さやま」

人口と世帯(市民課) 11月1日現在。()内は前月比

住民基本台帳人口	外国人登録人口
男 79,290人(- 60人)	981人(+ 23人)
女 77,047人(- 32人)	1,278人(+ 3人)
合計 156,337人(- 92人)	2,259人(+ 26人)
世帯 63,441世帯(- 3世帯)	1,637世帯(+ 14世帯)

10月の火災・救急件数(消防本部)

- 火災件数 7件(建物6件、その他1件)
- 救急出動件数 456件(搬送人員423人)

交通事故・刑法犯罪件数(狭山警察署)

- 交通事故 2,713件(人身事故676件 内死者7人、物件事故2,037件)
- 刑法犯罪 1,748件(侵入窃盗115件、車上狙い130件、自動車盗等87件、その他1,416件)

平成20年1月1日～10月15日の累計(概数)

広報さやま Vol.640 発行日・平成20年11月10日 発行・狭山市 編集・狭山市総合政策部広報課 FAX 04 2954 6262



公式モバイルサイトのQRコード QRコードに対応した携帯電話で読み取ると簡単にアクセスできます